



「第2回自然共生のみらい会議」を開催します

佐渡市が参画する佐渡島自然共生ラボの主催で「第2回自然共生のみらい会議」を開催します。本イベントは、自然共生に関する多彩な活動を展開する個人・団体・企業等が一堂に会し、様々な取組を発表します。

午前の部では、島内資源循環のフリーマーケット、ハードオフ出店買取、環境を学べる体験ブース等を出店します。午後の部では、各団体が取組概要を発表する1分スピーチ、団体ごとに分かれ、自身の活動を紹介するポスターセッション、最後に対話ワークショップを行います。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

記

日時: 令和7年10月25日(土) 10:00～17:00

場所: ハイブリッド開催(会場(あいぽーと佐渡) & オンライン)

参加費: 無料

- * プログラム詳細は佐渡市ホームページをご覧ください。
- * 午後の部(オンライン参加も含む)はお申込みが必要となります。
- * 10/26 関連イベント「自然共生体験ツアー」を開催します。

★★午後の部 お申し込みはこちら★★

<https://forms.office.com/r/qzYy9BhU0Y>

★★佐渡市ホームページ★★

<https://www.city.sado.niigata.jp/site/sdgs/74346.html>

本件についての問い合わせ先
佐渡市役所企画部総合政策課

再エネ推進室

担当: 轡田(くつわだ)、小田

電話(直通)0259-63-3802



自然共生の未来会議

自然共生をめぐる60の試み

佐渡島で自然環境の保全や自然資源の活用に取り組む島内外の人びとが一堂に会して情報交換を行います。

2025.10/25(土) あいぽーと佐渡

どなたでもご参加いただけます。
参加無料

午前の部 10:00~

フリーマーケット
(~13:00)

- もったいないせんたー
× どーじょ会
- こどもぐるぐるまーけっと

体験ブース
(~12:00)

- 日産わくわくエコスクール
- こども免許ブースほか

ハードオフ出店
買取ブース
(~14:00)

LUNCH 11:30~
しまふうみ、メレパレカイコ、Crescentmoonの
ランチボックスをご購入いただけます。(各30食)

午後の部 13:00~17:00

13:00 — 第一部「知る」
1分間プレゼン

市民・企業・研究者・行政機関が登壇
60の取り組みを一挙紹介!

14:30 — 第二部「つながる」
ポスターセッション

ポスター毎に分かれて内容を詳しく紹介

15:50 — 第三部「考える」
対話ワークショップ

農業、森林、循環、生物多様性など
テーマに分かれて対話しよう!

午後の部
オンライン
同時配信

ゲスト



小原壮太郎さん

一般社団法人 the Organic
代表理事/環境省 自然共生
サイト広報大使



島田由香さん

株式会社YeeY 共同創業者・
代表取締役/一般社団法人
日本ウェルビーイング推進協
議会 代表理事



森本英香さん

元環境事務次官
佐渡市総合戦略アドバイザー

午後の部 参加申込

左記QRコードまたは以下のサイトからお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/qzYy9BhUOY>

[お問合せ先] tel.0259-22-3885

(新潟大学 佐渡自然共生科学センター内/担当 豊田)

sadolab@sharedmail.niigata-u.ac.jp

関連イベント

10/26 自然共生体験ツアー

佐渡島内の自然共生の取り組みを学ぶ
3つの体験ツアー。ぜひご参加ください!

企画・運営 | 佐渡ヶ島発アウトドア研修TOKItowa

主催: 第2回自然共生の未来会議実行委員会
協力: 環境研究総合推進費戦略的研究開発課題(S-21)
「生物多様性と社会経済的要素の統合評価モデルの構築と社会適用に関する研究」

自然共生体験ツアー

佐渡島内の自然共生の取り組みを学ぶ3つの体験ツアー。

ぜひご参加ください!

参加費は当日、現金にてお支払いいただきます。



TOKItowa

2025.10/26(日)

コース 1

佐渡初! 集落で作る電力!
エネルギーの地産地消を見学



集落で取り組んでいる「小水力発電」を見学します。その後、実際に発電した電力で刈払い機を動かしてみたり体験を通して、地域でのエネルギーの地産地消を学びます。地産したエネルギーも活用しながら行う棚田保全の取り組みについても学びます。地域の知恵とあたたかさにつづける、特別なひとときを過ごしましょう。

日 時: 10/26(日) 08:50 ~ 10:15

集合場所: 歌見棚田

金 額: 2,000円(定員 10名)

コース 2

未利用資源にスポットライトを!
「暮らし」からみる自然との共生



佐渡の自然共生の佐渡のシンボル トキとの関わりを学び、その後、放牧竹林の整備体験や、空き家を活用する取り組みを通して、「未利用資源」の持つポジティブな可能性に触れてみましょう。お昼は「モゼム」の特製お弁当を囲みながら、参加者同士や地域の人の交流も楽しみましょう。(※お弁当は参加費に含まれるか確認中)地域での人とのつながりや、実際のリアルな暮らしを知る機会にもなるでしょう。自然と共生する暮らしのヒントを、一緒に探してみませんか?

日 時: 10/26(日) 10:00 ~ 13:00

集合場所: トキのテラス (〒952-0105 新潟県佐渡市新穂正明寺1277)

金 額: 3,000円(定員 15名)

コース 3

自然と共生した農業とは?
イケベジで地域循環型農業を学ぶ!



トキの野生復帰を目指し島一帯で「朱鷺と暮らす郷づくり」認証制度を確立して18年。地域循環型農業を営むイケベジの圃場を巡りながら、世代を超えて継々と受け継がれる佐渡ヶ島ならではの自然と共生した農業についての考え方を学びます。土づくりから循環を大切にしたい取り組みや、持続可能な農業を実践する工夫、農業への思いに触れてみましょう。お昼は、3種類の新米を食べ比べながらおにぎりにして、お漬物と一緒に楽しめます。季節や土地の恵みを味わいながら、佐渡の食文化の魅力も体感できるひとときです。

日 時: 10/26(日) 10:00 ~ 12:30

集合場所: 地域循環型農業イケベジ圃場

金 額: 3,000円(定員 15名)

「自然共生体験ツアー」参加申し込み方法

パンフレット表紙の「午後の部 参加申込」よりご登録ください。

詳細はこちら:

コースの詳細については
こちら合わせてご確認ください。



10:00~13:00

フリーマーケット(循環型)

もったいないせんたー×どーじょ会

「もったいない」(使わないもの)を「ありがとう」につなぐ循環拠点「もったいないせんたー」と服の循環イベント「どーじょ会」のコラボ企画。

今回は服のみが対象です。

※ゆずる/受け継ぐ、いずれかだけのご利用も可。
※ご利用は自由な金額のカンパ制です。

◎ ゆずりたい服: 5着まで

※子ども服は秋冬物のみ。
※1着ずつ「思い出」「気に入っていたところ」等メッセージをお願いします。(あらかじめ厚紙に書いて付けて来ててもOK)

◎ もらいたい服: 5着まで

※元の持ち主にお礼のメッセージをお願いします。



こどもぐるぐるまーけっと

子どもによる、子どものためのリユースマーケット。
持ち込んだものをポイントに変えてお買い物しよう。
※子ども用品(おもちゃ、雑貨、本等)の持込5点まで。



10:00~12:00

体験ブース

日産わくわくエコスクール

ミニ授業で地球温暖化や環境について知り、自分で発電した電気
でモデルカーを走らせよう! 使用したモデルカーはプレゼント。

※10時~、11時~各回8名(事前申込優先)。
※対象年齢の目安は5~12歳です。

こども免許ブース

写真を撮影し、その場ですぐお子様と一緒に
本物みたいな免許証を作成できます!



ゼロチャレ30士温暖化防止活動PR

次世代エネルギー関連の展示



日産わくわくエコスクール
事前申込はこちらから



10:00~14:00

ハードオフ出店買取ブース

ハードオフ(オフハウス・ブックオフ)

ご不要品を買取します。

※本人確認書類(免許証・健康保険証など)をご持参願います。
対象: オーディオ・楽器・ラジカセ・ゲーム機・ブランドバッグ・宝飾品・本・CD・DVD・ゲームソフトなど。

クイズコーナーやパネル展示を実施する予定です



13:00~ 自然共生のみらい会議 2025発表者リスト

※PS=ポスターセッション

PS※	発表者	カテゴリ名	発表タイトル
1	A イケベジ(本間 涼)	農業	たのしい農業
2	B UKUU(池 吉平)	農業	棚田を中心とした地域資源の活用
3	C 新潟県農地部農村環境課(風間 勇人)	農業	棚田みらい元年について
4	A 東京大学大学院農学生命科学研究科(吉田 丈人)	農業	耕作放棄地はどう生まれるか? : 機械学習を用いた市区町村別発生要因の推定
5	B 新潟大学(オウ コウケツ)	農業	衛星リモートセンシングデータを用いた耕作放棄地の抽出ならびに土地被覆状態の把握
6	C 新潟大学 農学部(鎌田 泰斗)	農業	水田の耕作放棄はトキの生息地にどのような影響をもたらすか?
7	A 国立環境研究所(横溝 裕行)	農業	同調圧力や社会的圧力は耕作放棄を食い止める鍵となるのか? - 一佐渡の水田耕作を考える -
8	B 国立環境研究所(大和田 興)	農業	農家主体の農業再生 - 全国事例の佐渡市への活用
9	C Lady Garden(石川 あさ子)	農業	Lady Gardenのデリシャス・フレッシュ・エレガンス・ファーム
10	A JA佐渡自然栽培研究会(佐々木 邦基)	農業	森の木や草花に学び、自然の摂理を地域に活かす
11	B いざりびの宿 道遊(篠原 豪)	農業	いのちの共生農法
12	C 海藻の新たな可能性を探究するチーム(正司 正)	水辺	佐渡の多様な海藻の魅力
13	A 佐渡島加茂湖水系再生研究所(大地 政廣・藤井 英樹)	水辺	ヨシの活用から水辺再生の輪を広げる
14	B 一般財団法人 新潟県環境衛生研究所(大谷 道生)	水辺	佐渡の湧き水 貴重な自然をたずねる
15	C 佐渡プロジェクト株式会社(北川 達也)	水辺	金山雲丹の完全養殖について
16	A 吉井木材工業株式会社(水野 雅晴)	森林	佐渡の木「アデビ」ブランドデザインプロジェクト関連
17	B アデビの会(臼杵 誠五・明田川 晋)	森林	楽しいアデビの苗つくり ~ 佐渡らしい循環型林業の第一歩 ~ (仮)
18	C 筑波大学(三ツ井 聡美)	森林	佐渡の山林の今とこれから~ 森林組合員の方々へのアンケート結果報告
19	A 新潟大学農学部(梅澤 咲帆)	森林	時系列空中写真を用いた過去の森林変化の可視化
20	B 東京大学大学院農学生命科学研究科(小川 みふゆ)	生物多様性	農地の耕作放棄が生物多様性と生態系サービスに与える影響のレビュー
21	C 東京大学大学院農学生命科学研究科(石黒 平)	生物多様性	佐渡の農地利用と生物多様性・生態系サービスの過去~ 現在~ 未来
22	A 新潟大学(苗木 茜)	生物多様性	佐渡島における土地利用の変化は生物多様性をどう変えるのか
23	B 新潟大学(原田 海斗)	生物多様性	耕作放棄地の拡大が地上徘徊性昆虫に及ぼす影響
24	C 新潟大学(久野 太照)	生物多様性	耕作放棄地の拡大は鳥類にどのような影響を与えるのか
25	A 新潟大学(漆原 理心)	生物多様性	ただの同居人なのか? 大きく成長した顔にととの小さな捕食者の存在意義
26	B 新潟大学(大峽 謙)	生物多様性	耕作放棄地の拡大がトンボ目に及ぼす影響
27	C 新潟大学(江角 向陽)	生物多様性	耕作放棄地の拡大がカエル類に及ぼす影響
28	A 新潟大学(坂本 幸盛)	生物多様性	耕作放棄水田における植物群落パターンの分布予測
29	B 新潟大学佐渡自然共生科学センター(高津 邦夫)	生物多様性	おとこの子おんなの子: 外敵がいるときにあらわれるオタマジャクシの性差
30	C 新潟大学佐渡自然共生科学センター(河口 洋一)	生物多様性	サドガエルと共生する農業は実現できる? 大学が進める地域連携の学び
31	A 松ヶ崎中学校 昆虫博部(上山 篤人)	生物多様性	総合的な学習の時間から始まった昆虫博部の取り組みと今後の活動
32	B 生物多様性佐渡戦略改定プロジェクトチーム(山本 一樹)	生物多様性	佐渡島が描く生物多様性の未来戦略
33	C 佐渡市総合政策課再エネ推進室(藤井 貴寛)	エネルギー	佐渡市における脱炭素の取組
34	A 滋賀県琵琶湖環境科学研究所(若川 貴志)	エネルギー	脱炭素・ネイチャーポジティブ同時達成に向けた佐渡の将来シナリオ
35	B 千葉大学・芝浦工業大学(宮崎 文彦)	エネルギー	「さど脱炭素・未来ワークショップ」のねらいと成果
36	C 佐渡 Jet Peers(豊田 光世)	エネルギー	地域のパワーが拡張するセルフビルド型超小水力発電の試み
37	A 佐渡島自然共生ラボ(NTTデータ 角 茉莉那)	循環	みらい会議! みんなでつくる 竹資源循環ネットワーク
38	B 株式会社 帆刈商店(小林 勝友)	循環	きちんと分けてまた会いたいね
39	C 一般社団法人佐渡あるもんで山(原田 雅代)	循環	山から学ぶ暮らしの文化コミュニティ
40	A もったいないせんたー(みしま あすか)	循環	あなたの「もったいない」を だれかの「ありがとう」につなぐ
41	B ゼロチャレ30士(脱炭素普及学生チーム)	教育	『目指せ! 2050カーボンゼロ』市内中学校での環境学習の取組み
42	C 新潟大学佐渡自然共生科学センター 臨海実験所(川坂 健人)	教育	臨海実験所での教育関係共同利用拠点としての取り組み
43	A 東京工科大学SDGsさど(大山 昌彦)	教育	「東京工科大学SDGsさどの取組」
44	B トキの里探検隊(本間 勉)	教育	「自然は文字は言葉を持たない」、里山でのコミュニケーションツールを考える
45	C Botanical Academy(崎尾 均)	教育	サイエンスカフェで市民の交流を目指す
46	A 子ども未来舎 りぜむ(三浦 涼平)	教育	子ども未来舎りぜむの取り組み
47	B TOKItoWA(赤木 美日)	教育	佐渡から新しい価値の社会浸透を目指す! アウトドア研修TOKItoWA
48	C 教育テック総合研究所(長島 匠)	教育	佐渡市 OCC 大阪万博2025企画報告 ~ みらい会議プロジェクト、万博へ~
49	A 地球環境戦略研究機関(藤野 純一)	教育	「佐渡の小学6年生がSDGsゲームのオリジナルカードをつくる」支援
50	B 新潟大学 じぶんのキャンパス LIOS(Jasmine E. Black)	教育	佐渡の里山をフィールドにしてユース活動プログラム
51	C お茶の水女子大学(若田 優子)	社会・政策	協働の場のサステナビリティとは何か - 佐渡市のリーダー変遷から考える -
52	A 地球環境戦略研究機関(齊藤 修)	社会・政策	ネイチャーポジティブな佐渡の未来に向けて
53	B 大阪大学(芳賀 智宏)	社会・政策	地域版統合評価モデルを用いた生物多様性・生態系サービスの将来シナリオ分析
54	C 新潟大学(嶋田 実緒)	社会・政策	サイエンスカフェを事例とした科学者と市民の認識の乖離の分析
55	A 澤口 真里佳	社会・政策	佐渡と南極——多様性と共生の知恵をつむぐ旅
56	B NTT東日本 新潟支店(小林 慎之介)	社会・政策	環境に配慮した取組について
57	C NTTデータ経営研究所(山口 葵)	社会・政策	環根木から全国に発信する「ぼくさいのみらい」
58	A 花の島プロジェクト(長田 悠馬)	社会・政策	佐渡のお花6人組の取り組みをご紹介します
59	B 佐渡に移住したい早稲誠	社会・政策	そもそも地球に自分のものなんてなかったんだ!
60	C シンガー“C”ソングライター(館 恭介)	社会・政策	世界でただ1つ。自分コミュニティの曲を創ろう!